

進路通信

青森県立五所川原工科高等学校進路指導部

令和7年2月19日発行 第4号



文責：小田桐 弘

皆さんは進学や就職に向けて、どのような準備が必要か考えたことはありますか？今回は、進路決定に向けて、3学年の進路スケジュールや進学における選抜方法について紹介します。また、★印をつけた注目ポイントについても詳しく解説します。

(詳しいスケジュールや試験対策、作成する書類、奨学金などの情報は、春に配布した「進路のてびき」に掲載しています。)



○3学年進路スケジュール

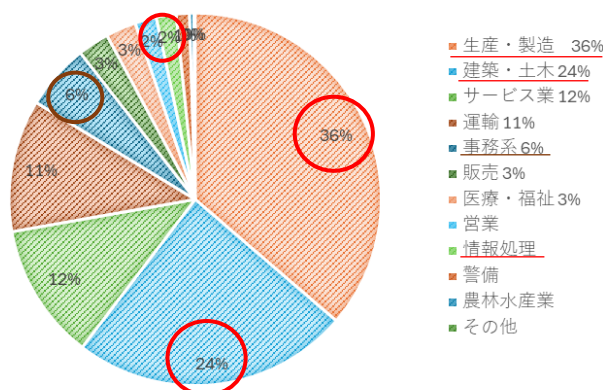
	就職	公務員	進学
6月		受験案内入手 出願開始	
7月	★求人票受付開始 応募前職場見学		入学者選抜実施要項 発表
8月	履歴書作成		総合型選抜 出願
9月	応募書類発送 入社試験(9/16～) 内定通知	1次試験	大学入学共通テスト 出願
10月		1次試験合格発表 2次試験	★総合型選抜 入試
11月		★2次試験合格発表	総合型選抜 合格発表 ★学校推薦型選抜 出願・入試
12月			学校推薦型選抜 合格発表
1月			★大学入学共通テスト 入試 私立大学 一般選抜 出願 国公立大学 個別試験(2次試験) 出願
2月			★私立大学 一般選抜 入試 私立大学 合格発表 ★国公立大学 前期試験 入試
3月			国公立大学 前期合格発表 ★国公立大学 中・後期試験 入試 国公立大学 中・後期合格発表

★就職～求人票受付開始と求人の業種～

7月の求人票受付開始から試験まで2ヶ月しかありません。この2ヶ月間は履歴書等の書類作成、面接練習、就職試験対策で忙しいです。求人票受付後に決めるのでは時間がありません。また、高校生には「一人一社制」というルールがあるため同時に一社しか応募することができず、不合格通知が来てから次の就職先を探すことになります。このため、本当にそこに就職したいのか熟考し、就職試験に向けて対策するためにも6月までには前年の求人票から候補を絞っておきましょう。

本校には2024年度2088件の求人票が届きました。工業科があるため、工業系の求人が1297件で全体の62%と大きな割合を占めているのが特徴です。一方、普通科の生徒が多く志望している事務系の求人票は119件と全体の6%しかありません。ここに地域や給与、福利厚生を考えると自分が望む求人の数は限られてきます。工業系以外の就職を希望している生徒は早めに探し始めましょう。ちなみに普通科の生徒でも工業系の求人に就職を決めた生徒もいます。

2024年度 本校の求人割合



★公務員～2次試験不合格の場合と勉強時間～

最近では応募数が減っていることから1次試験の合格率が上がっていますが、いいことばかりではありません。公務員試験は最終合格発表が11月末から12月に行われます。スケジュールをみると、12月には進学のための総合型選抜・学校推薦型選抜の試験が終わっていることがわかります。つまり、不合格の場合、進学にシフトするためには一般選抜しかありません。また、就職の場合は人気の会社はすぐに定員となるため、希望の条件の就職先が残っているとは限りません。さらに、6月には出願が始まるため、3学年になってからでは時間がありません。「とりあえず公務員」という考え方は進学・就職ともに大きな不利になります。2学年の内に本当に公務員を目指すのか、不合格になったときどの進路へ進むのかを考えておき、3学年では試験勉強に集中できるようにしましょう。

東京アカデミー（予備校）によると高卒程度区分で合格した受験生の勉強時間は合計500～800時間となっていました。進度や基礎学力にもよりますが、1日2時間の勉強を1年間続ける計算になります。本校では公務員講習を行っていますが、1週間で1時間30分程度です。講習だけでは圧倒的に時間が足りませんので予備校や参考書を活用して勉強しましょう。また、体力試験や実技試験がある職種を希望する生徒は計画的な体力作りをしましょう。例えば腕立て伏せを何秒間に何回行う必要があって、顎はどこまで下げるのか、腕はどこまで開くのか、試験で測られる内容を知らないで努力のしようがないため試験直前ではなく今の時期にどんな試験内容なのかを確認し対策スケジュールを組みましょう。

○進学～選抜方法の特徴～

選抜方法	特徴	このような生徒におすすめ
総合型選抜	・ <u>大学が求める人材を選抜する方法</u> 大学で学びたいことや意欲、入学後及び将来の目標が重視される <u>小論文や面接で知識や思考力、表現力等の総合力を見る</u> ・ 試験内容：面接、小論文、口頭試問、プレゼン等 ・ 受験機会が増えるが一般試験対策と同時進行する必要がある ★<u>出願時期が早く、計画的に動く必要がある</u> ・ 併願ができない	・ <u>将来の目標に向けて大学で学びたいことを根拠を持って説明できる</u> ・ <u>人前で話す力がある</u> ・ 1.2年生から課外活動をしている ・ 英検などの資格を持っている ・ 計画的に行動できる
学校推薦型 選抜	・ <u>高校での学習状況や課外活動など日頃の努力を評価する方法</u> <u>小論文や面接で思考力や表現力、人柄を見る</u> ★<u>受験条件：評定平均が基準を超えていること</u> 学校長からの推薦を受けること ・ 試験内容：面接、小論文、口頭試問等 ・ 併願ができない	・ <u>よい成績を安定してとれる</u> ・ <u>部活動や課外活動で成果を上げている</u> ・ 将来の目標に向けて大学で学びたいことを根拠を持って説明できる
一般選抜	★<u>試験の点数のみで選抜する方法</u> ・ <u>複数の大学を受験できる</u>	・ <u>学力試験に自信がある</u> ・ <u>大学でやりたいことを迷っている</u> ・ 人前で話すことが苦手 ・ 学校の成績が不安

※課外活動（例）・・・英語検定、ボランティア、地域貢献活動、小論文のコンテスト等

★ 総合型選抜～早期の取り組みが鍵～

総合型選抜は、出願や試験の時期が一般選抜よりも早く、3年生では書類作成や面接練習が中心となるため、課外活動やオープンキャンパスに参加する時間の確保が難しくなります。総合型選抜を受験する生徒の多くは、部活動やボランティア、コンテストなどに積極的に取り組んでいます。一方で、本校の生徒は校外での活動経験が少なく、志望理由書や面接で話せる内容が不足し、苦勞するケースが多く見られます。1・2年生のうちから課外活動に積極的に参加し、経験を積んでおきましょう。また、総合型選抜では、これまでの経験をどのように捉え、将来にどう活かすかを伝える力が求められます。話す力や考える力は短期間で身につくものではないため、試験直前に焦るのではなく、今から人前で話す練習をし、新聞やニュースに関心を持ち、自分の意見を持つ習慣を身につけていきましょう。さらに、不合格だった場合は一般選抜にシフトすることも考えられるため、総合型選抜と並行して一般選抜の準備も進めておくことが大切です。どの選抜方法にも対応できるよう、早期から計画的に取り組みましょう。



★学校推薦型選抜～今、準備すべきこと～

学校推薦型選抜では、1学年から3学年までの成績が評価されます。評定が足りなくて希望する進路を諦めた人もいますので、今後の授業の取り組みや試験、提出物にも気を配り安定した成績を維持しましょう。また、学校推薦型選抜では志望理由をしっかりと説明できることが求められます。来年度の五工祭は10月4日～5日の秋開催となるため、早め早めの準備が必要です。遅くとも春までには志望先を決め、すぐに試験対策を始められるようにしましょう。試験では、面接や小論文が課されることが多く、論理的に考え、自分の意見を伝える力が問われます。新聞やニュースに関心を持ち、自分の意見を持つ習慣をつけておくと、3学年になったときに役立ちます。

★一般選抜～模試の活用～

一般選抜は試験の点数のみで勝負することができる受験方法ですが、自分は何が苦手でどのレベルまで勉強すればよいかかわからないと思います。そんなときに活用してほしいのが模試です。模試では志望校の判定やどんな問題が苦手なのかを見ることができます。模試は受けるだけでは意味がありません。受けた結果、何を勉強すべきか振り返ることが重要です。模試の判定で一喜一憂せず、どの分野を勉強すればよいか、あと何点あげればよいか、学習の道しるべとしてぜひ活用してください。「マナビジョン」では自分が受けた模試の結果を確認できるだけでなく、予習すべき問題や復習すべき問題を見ることができます。

○一般選抜合格者がしていること

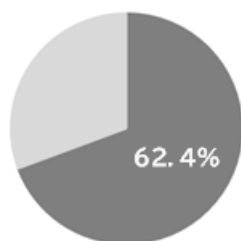
①学習を開始する時間を決める

大学合格者は学習開始時間を決めており、学習の計画を定期的に見直しています。まずは普段の学習開始時間を決めることから始め、学習計画を立てましょう。

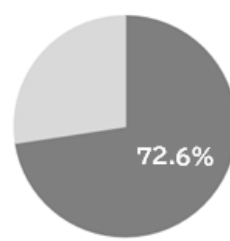
②苦手分野は基本から見直す

これまで勉強してきた内容で苦手分野が出てきている人もいます。入試直前になって苦手分野を復習し始め、克服できていない状態で入試に臨まないように、現段階で発見した苦手分野を今のうちから見直して克服していく必要があります。

【計画や目標を決めて学習している割合】



【優先順位を決めて学習をしている割合】



ベネッセコーポレーション「2024年度入試における合格者の、スタディーサポート3年生第1回の平均回答率」より

「何をすればいいかわからない……」という人は、まず学習を始める時間を決めてみましょう。

また、苦手なところは早めに見直して、基礎から克服していくことが大切です！